-1-
平成１７年度校内研究計画書
整理番号 ５５ 学校名五所川原市立喜良市小学校学級数 ６ 校長氏名小田川修三
主な研究教科等各教科、道徳、特別活動等教育活動全体
１研究キラキラと生命輝く健康でたくましい子どもの育成
いのち
主題 ～一人ひとりの健康課題解決をめざす健康教育を通して～
（１）教育目標との関連から
２ 本校では「思いやりのある心の豊かな子ども 「自ら考え学習する子ども 「健康でたくまし 」 」
く生きる子ども」を教育目標に掲げ、心身ともに健康でたくましい子どもの育成を目指してい
研る。昨年に引き続き、健康教育を重要研究課題として、子ども達一人ひとりが自らの健康課題
究を意欲的に解決して、健康な生活を実践できるようにすることを目指していく。
主
題（２）児童の実態から
設子ども達は、健康面に関して自分の健康や生活習慣を振り返り、そこから課題を見つけられ
定るようになってきた。学習面では問題解決や授業に集中して取り組んでいる。しかし、意欲的
のに課題解決に取り組み、追求して自分達の生活ををよりよいものにしていこうとする実践力が
理まだ不十分である。
由
（３）指導の反省から
本校では、これまで「キラキラ会議（学校保健委員会 」や「健康カードの活用 「さわやか） 」、
マラソン 「体力テストの実施」など健康に関していろいろな実践をしてきた。昨年度から全教 」
育活動を通した健康教育に取り組み、子ども達の健康への意識は向上し、自らの健康課題も見
つけられるようになってきた。しかし、課題追求や子ども同士の深め合いへの支援が不十分だ
ったため、意欲を持って課題解決に取り組んだり、根気よく追求したりする力が十分育ってい
ない。
３研究教育活動全体において、一人ひとりが課題を見つけ、意欲的に課題解決に取り組む子どもを育
目標てるためには、健康課題を解決させるための支援を工夫した授業作りが有効であることを実践的
にあきらかにする。
４研究教育活動全体において、健康課題を解決させるための支援を工夫した授業作りをすることによ
仮説って、自ら課題を見つけ、課題解決に取り組む子どもが育つ。
（１）研究内容
・健康に関連した授業実践と工夫（各教科、道徳、総合等）。
・キラキラ会議（学校保委員会）の実施。
５ ・健康課題を解決させるための支援のあり方。
・各教科の健康教育関連単元の抽出。
研
（２）研究方法
究 ・提案授業の実施。
・指導、助言者を招いての研修会の実施。
の
（３）検証方法
概 ・提案授業、事後の研究協議で仮説の検証をする。
・日常の授業実践や諸活動を通してみられる児童の変容から仮説を検証する。
要（４）年次計画
・１年次＝健康に関連した授業作りの工夫。
・２年次＝健康課題を解決させるための支援のあり方（本年度）。
月日内容方法
６ ４／１３ 校内研修の概要、研究計画検討全体協議
４／２０ 研究計画書の検討全体協議
本 ５／ ２ 校内研究の具体化全体協議
年 ５／１８ 授業公開 ※計画訪問全体協議
度 ５／２３ 健康教育、情報教育についての学習会全体協議
の ６／２４ 提案授業、協議（２年）研究協議
研 ７／１２ 提案授業、協議（３年）研究協議
究 ８／２４ 提案授業の事前研究（６年）研究協議
計 ９／１３ 提案授業、協議（６年） ※要請訪問研究協議
画 １０／２４ 提案授業、協議（５年）研究協議
１１／２４ 提案授業、協議（４年）研究協議
１２／ ７ 提案授業、協議（１年）研究協議
１２／１５ １年間のまとめ、研究紀要について全体協議
１／３０ 今年度の成果と課題全体協議
２／２２ 来年度の展望全体協議